

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日： 2024年12月20日

事業所名：放課後等デイサービス こぼんはうすさくら新潟中央教室

対象人数（保護者）26人 回答者数 24人 回収 92.3%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17	7		実際の活動時に見たことがないので分からない	・身体を動かす活動は戸外を活用したり、室内においても安全対策を取りながら、活動を進めています。今後もコーナー設定等、室内での粗大活動の為のスペース確保や、創造センターなどの社会資源を活用し、お子様の活動のスペースが十分に確保できるよう、創意工夫して参ります。
	②	職員の配置数は適切であると思いますか。	21	3			・法令で定められた基準を順守し、日々のご利用人数を考慮した上で、適切に配置しています。
	③	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20	4		ゆっくりと活動を確認する機会がない為 実際の活動時に見たことがないので分からない	・トイレやロッカー前に必要動作をイラストで掲示し、視覚情報を手掛かりに、見通しを持って行動できるよう工夫しています。また、施設入口に子ども用の椅子を設置し、お子様が靴の着脱で使えるようにしました。引き続き、お子様の日々の様子から必要な配慮を考え、環境構成を行って参ります。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19	5		実際の活動時に見たことがないので分からない 「活動に合わせた空間」というものが、良くわかりません。	・療育後にはチェックシートを確認しながら所内の清掃、破損箇所のチェックを行い、衛生的で安全な環境作りに取り組んでいます。 ・活動内容によって間仕切りなどで活動内容を設定する等、適宜職員間で共有しなら設定して参ります。
適切な 支援の 提供	⑤	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20	4			・支援の質向上の為、所内ミーティング時に研修会の実施、また、動画視聴という形で所外の研修会へ参加しています。 ・療育後には振り返りを行い、お子様のご様子や情報を共有することで、必要な支援の確認を行っています。
	⑥	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23	1			
	⑦	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	23	1			
	⑧	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20	4			・放課後等デイサービスガイドラインに基づき、お子様のニーズに合わせた内容を設定し、日々の支援に繋げています。
	⑨	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23	1			
	⑩	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	23	1			

	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	⑪ 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	12	6	併用なので本人は交流しています。施設として機会を設けるのは、優先度は高くなくて良いと思います。放課後児童クラブや児童館に行ったと言う話を聞いたことがないので交流はないと思われる。ただ、公園に行く事はあるのでそこでの交流があるのか、	・現状放課後児童クラブや児童館との交流の機会を設けることは難しい状況にありますが、創造センターや創作活動館の他児との交流など、可能な範囲で交流の機会を設けて参ります。
	⑫ 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23	1			
	⑬ 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	24				
	⑭ 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	5	4	継続的にペアトレを学べるプログラムがあると嬉しい。家族も参加できるイベントの機会は増やしていただいております。現在はここまででも良いかと思っております。個別に育児相談をしたことがあり、大変助かりました。個別相談も、「家族支援プログラム」に含まれるのでしょうか？質問内容が良くわからなかったため、「どちらともいいえ」にしておきました。	・保護者の方にペアレントトレーニングの内容に関してニーズの聞き取りを行い、次年度からご要望をもとにプログラム実施の機会を設けます。
	⑮ 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	21	3			・HUGシステムを活用し、日々の支援内容を共有できるようにしています。また、必要に応じ、送迎時に保護者の方と口頭で活動内容やお子様の変化を伝えるようにしています。
	⑯ 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	3	2		・一層、ご家族の方へ見学や面談が出来る機会を作れるよう、連絡を密にして参ります。
	⑰ 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21	3			
	⑱ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	7	5		・保護者の方もご参加いただけるイベントは実施できましたが、父母の会や保護者会等の機会を創出できませんでした。次年度に向け、保護者の方のお仕事やご家庭の状況を考慮しつつ、懇談会や保護者の方同士の交流の場が設けられるように計画、実行して参ります。
	⑲ こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20	3	1		個別支援計画の面談時に、一層丁寧に説明して参ります。
	⑳ こどもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23		1		
	㉑ 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	21	2	1		・HUGシステムを活用し行事予定や個別の連絡を行っています。また、療育中のご様子を、ブログやインスタグラムで開示しています。 ・自己評価の結果については、当施設のホームページやHUGシステムにて公開しております。
	㉒ 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	24				

保護者への説明等

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の 対応	㉓ 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19	4	1		・法令に基づいた必要事項を盛り込み、各種マニュアルの作成を進めています。完成後、保護者の皆様にご確認いただけるよう、所内応接室に設置、掲示させていただきます。
	㉔ 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17	7		訓練をしたかどうか、覚えてません・・・すみません。	・昨年度より、避難訓練、防犯の訓練回数を増やしております。日頃の積み重ねが大切なので、次年度も回数、内容の見直しを行ってまいります。 ・訓練実施の様子はブログやインスタグラムでご確認いただけます。
	㉕ 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	4	1		・療育や送迎業務に関して、マニュアルや安全計画を作成し、各職員が療育の安全を十分に確保したうえで業務にあたっています。 ・事業所の安全計画を所内に設置、掲示します。
	㉖ 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20	2	2	まだ準備段階と聞いています。 (2024年3月以来)	・怪我のないよう、安全対策に努めますが、発生した際は速やかに保護者の方へご連絡をし、お子様の状態、今後の対応を速やかにお伝えします。また、全ご利用者様へ周知すべき内容は速やかにHUGシステムの活動記録でお知らせしたり、感染症発生の際は各ご家庭にお電話し状況、対応をお伝えします。
満足度	㉗ こどもは安心感をもって通所していますか。	23	1			
	㉘ こどもは通所を楽しみにしていますか。	20	3	1	イベントは楽しみなようです。	・日頃の活動にも期待感を持ち、来所の意欲に繋げられるよう内容を計画して参ります。
	㉙ 事業所の支援に満足していますか。	21	2	1		・引き続き、事業所評価のご家庭のご意見を参考に、お子様の自己肯定感が高まる支援をして参ります。

公表日

2024年 12月 20日

事業所名

こぼんはうすさくら 新潟中央教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	2	・戸外プログラムを取り入れる等、工夫している。 ・机を使いコーナー設定をするなど工夫している。 ・少し狭いが適切に感じる。	・運動等を行う場合、狭く感じる。 ・グループ分けを行うなど工夫していく。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	2	・基準は満たしている。	・利用児数だけではなく、手厚いサポートが必要な児童の人数で、職員を配置する必要があると感じる。 ・曜日によって偏りを感じる。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	・ロッカー前やトイレに視覚支援のイラスト掲示、玄関に子ども用の椅子の設置を行った。 ・ジョイントマットを設置した。	・壁の凹凸で、やや危険に感じる箇所がある。 ・環境設定や職員配置を適切に行い、安全に配慮する。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	2	・毎回療育後に清掃を行っている。 ・週に一回（日曜）に次亜塩素酸ナトリウム製剤で室内や玩具の消毒を行っている。	・業者等による、床の一齐消毒が必要であるとを感じる。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		・必要に応じて、「ゆっくり部屋」や応接室を使用している。	・室数に限りがあるので、職員同士環境設定について情報を共有しながら、スペースを有効活用していく。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		・一日の療育業務終了後、振り返りを行い改善に努めている。 ・職員同士で、目標設定と振り返りを行うようにしている。	・自身の振り返りだけではなく、前日や週の引継ぎ事項を確認しながら、療育の質を向上させることができるよう工夫する。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・HUGシステムを活用し、行えている。 ・事業所内のミーティングで評価表の確認をしている。	・今後も評価表の結果を業務改善に反映させていく。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・毎日の振り返りを行う中で、療育活動で子どもの変化や状態の把握をしている。	・シフト制で勤務を回している都合上、職員全員が働く機会が多くない状況である。全員出勤の日にはミーティングの機会を設け、同じ情報を共有し、業務にあたることできるようにしていく。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3	・こぼん本部によるものは行っている。	・外部評価が行われているか、把握していない。 ・外部評価が適切に行えるよう、本社やこぼん本部に確認する。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		・動画視聴や、ミーティング時に合わせた定期的に行うことができる。 ・昨年より研修の機会が増えた。	・所内研修以外にも、外部講師による研修に参加する機会を設けることができるよう、本社に確認し計画していく。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		・活動内容はHUGシステムで月ごとに公開している。	・今後は活動のねらいも掲載し、公開していく。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	1	・個々のニーズに留意し、包括的な計画を作成している。	・適切に振り返りを行い、次年度の計画に反映させる。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	1	・時間を見つけ、内容を共有、支援の検討を行っている。	・各職員がこどもの最善の利益を考慮し、支援にあたることができるよう、今後も情報共有の時間を見出し、コミュニケーションを取っていく。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1	・特に問題無く行えている。	・振り返り、計画の見直しを行っている。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		・HUGシステムを活用し、行えている。	・インフォーマルなアセスメントの使用頻度が少ない為、積極的に活用していく。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		・こどもの支援に必要な項目が適切に設定されている。	・項目自体は適切に設定することができるので、引き続き内容についても掘り下げ、ガイドラインに基づき支援の質を高めていく。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		・時間を見つけて話し合うようにしている。	・年間計画や月案をもとに、ねらいを週案、日案に落とし込みながら計画していく。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		・意見を出し合っている。	・子どもの様子を共有する中で、新しいプログラムを積極的に出し合っていく。

適切な支援の提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		・チャレンジタイム（個別課題）と、集団プログラムを行っている。	・今後ご家族やご本人の意向を汲み取りながら、適宜組み合わせ方を工夫していく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		・午前（療育開始前）のうちに確認し合うようにしている。	・個別課題用にかごを使用する等、個々に応じた課題をこども自身も職員も把握しやすいような環境を構成していく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		・振り返りを行っている。	・気づきを記録しておくことで、職員間で周知し、以降の療育に活かすことができるようにしていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		・記録は取っている。	・必要事項を効率よく記入できるフォーマットを作成し、療育職員の負担を減らしながら、支援の質を向上させていけるよう工夫する。
	23	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		・児発管が行っている。	・職員全体で、モニタリングの内容について共有できる機会を作っていく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	4	1	・創作活動や余暇の提供を行っている。	・放課後等デイサービスガイドラインの内容を職員間で確認する機会を設け、日々の支援に反映させていく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	2	3	・自由時間やおやつ時間など、自分で選択する機会を設けられるよう環境設定している。	・来所中、生活の些細な場面でも選択、自己決定ができる場面を創出していく。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		・児発管が参加している。 ・必要に応じて、こどもの状況を知る現場職員も同席している。	・職員と児発管が会議前、会議後の情報共有も密に行い、連携を取っていく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	2	・必要に応じて行政や医療機関とカンファレンスを開き、支援内容や配慮について擦り合わせをしている。	・十分とは言えない。 ・今後多岐に渡るニーズに、柔軟に対応できる職員体制を整えていく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		・行えている。	・引き続き、必要に応じて適切に情報共有、連絡調整を行っていく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2	・就学前から、自施設の児童発達支援に通所があった場合には、記録や職員間でのやり取りで情報を共有することができている。	・十分に行えているとは言えない。 ・必要に応じて、保護者の方に確認した上で、就学前の情報共有を行っていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		5	・現在対象児がいない。	・該当ケースが生じた際には、個人情報の取り扱いに十分注意しながら、適切に支援内容等の情報を関係各所に共有していく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	2	・利用児童の情報を共有し、連携している。	・十分とは言えない。 ・児童発達支援センターの職員の方とケースに応じ、電話や来所で対応のアドバイズを頂ける関係作りを構築する。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		5	・公園や活動館を利用することはある。	・交流する機会はあまりない。 ・公園利用時に交流できる機会が増えるよう、支援できればと考えている。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	4	・自立支援協議会への応募者が多く、現段階では参加することができていないが、2月実施のものには参加予定である。	・参加していない。 ・引き続き、参加の機会があれば応募していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		・連絡帳で日々の様子は伝えている。 ・必要に応じて、送迎時や電話で直接情報共有をおこなっている。	・保護者の方も参加する行事、イベントの際に、療育職員も日々の様子を直接伝える等の発信を積極的におこなっている。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4	・専門職者による個別レッスンを始めた。	・ペアレントトレーニングは行っていない。 ・放デイは未実施。 ・年間計画に家族支援のための項目を盛り込み、実施に繋げる。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		・児発管が行っている。	・引き続き、保護者の方に安心してご利用いただけるよう、説明を行っていく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		・アセスメントやモニタリングのタイミングで、意向の確認等も行っている。	・お子様の意向も踏まえ、事業所の計画に汲み上げていく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		・問題なく行っている。	・引き続きお子様やご家族の意向を聞き取り、機能訓練士やスタッフと支援内容を共有、精査しながら対応をする。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		・主に児発管が行っている。	・今後も相談しやすい関係づくりを心掛ける。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	4	・検討している。	・放デイは未実施。 ・アンケートを実施し、保護者の方やご家族のニーズの聞き取りを行った上で、交流の機会を設けていく。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		・主に児発管が行っている。	・相談や申し入れに関しては真摯に受け止め、引き続き対応可能な体制作りを目指す。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		・インスタグラムやブログで、日々の様子を公開している。 ・活動概要や行事予定はHUGシステムで発信している。	・施設内の掲示等で、お子様対しても、月間の予定やイベント等の情報開示をおこなっていく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		・利用者の個人ファイルは鍵のかかる棚に保管している。	・引き続き、個人情報に記載されている書類の管理を徹底し、SNS等の写真の掲載には個人を特定されない為の注意を払っていく。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	1	・配慮している。	・配慮はしているが、難しく感じることが多い。 ・意思の疎通と情報伝達を適切に行う為の配慮を、職員一人ひとりが心がけている。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3	・近隣の大学の学生と講師による、食育イベントを行っている。	・地域交流は行っていない。 ・今後は地域住民の方にも情報を開示し、可能な範囲で夏祭りやハロウィン等のイベント参加を呼び掛けていく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		・各マニュアルを策定している。 ・避難訓練を実施している。	・施設内掲示やHUGシステムでの情報公開を行い、保護者の方への周知に繋げていく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		・避難訓練は定期的に行っている。	・ミーティング等でBCPの内容について周知し、非常災害の発生に備えている。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		・アセスメントや契約時に確認している。	・体調や状況等で留意事項があれば、職員間で共有し、対応を周知していく。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	・アレルギーのある子どもは、個別におつを持って来ている。	・今後もアセスメントや契約時に、アレルギーについて聞き取りを行い、適切に対応していく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	3	・避難訓練や感染症対策の研修、虐待防止研修等を、年間予定を立て計画的に行っている。	・安全計画が作成されているか把握していない。 ・安全計画について周知し、事業所全体で安全管理を徹底していく。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	2	・事故報告等があれば、速やかに情報を公開している。	・訓練の年間計画や安全計画に基づく取り組み内容について、引き続きHUGや施設内への掲示等で周知に繋げていく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		・ヒヤリハット報告書に記載し、朝礼や所内ミーティング等で報告、共有している。	・些細な場面でもヒヤリハットに記入するクセ付けをすることで、再発防止に繋げていく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	1	・研修を受けている。	・今後も研修や勉強会の年間計画を立て、虐待防止に取り組んでいく。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	1	・説明は児発管が行っている。 ・書面に示す形で、契約時に保護者に説明、確認している。	・身体拘束についても放課後等デイサービス計画に記載していく。	